

岐阜県における広域連携の検討

【平成 29 年度】岐阜県水道事業広域連携研究会の立ち上げ

4 つの広域水道圏ごとの部会

岐阜広域水道圏・・・岐阜市、関市、美濃市、羽島市、各務原市、山県市、瑞穂市
本巣市、郡上市、岐南町、笠松町、北方町（9 市 3 町）

大垣広域水道圏・・・大垣市、海津市、養老町、垂井町、関ヶ原町、神戸町、
輪之内町、安八町、揖斐川町、大野町、池田町（2 市 9 町）

岐阜東部広域水道圏・・・多治見市、中津川市、瑞浪市、恵那市、美濃加茂市、
土岐市、可児市、坂祝町、富加町、川辺町、七宗町、八百津町
白川町、東白川村、御嵩町（7 市 7 町 1 村）
岐阜県（用水供給事業）

飛騨広域水道圏・・・高山市、飛騨市、下呂市、白川村（3 市 1 村）

研究会の 3 つの基本的な考え方

- ・水道事業体（市町村等、県営水道）の自主的、主体的な取組みが基本
- ・経営の健全化、持続可能性確保が目標であり、広域連携は 1 つの手段
- ・できることから成功事例をつくることを目指す

部会における検討事項

- ・平成 29 年度に岐阜県清流の国推進部市町村課が行ったアンケート調査の結果や各水道事業体との意見交換等で抽出された課題を「短期的課題」と「長期的課題」に整理し、可能であれば 1 つずつ連携テーマを設定し、集中的に検討

岐阜東部広域水道圏部会

- ・当地域では、平成 28 年度に県営水道と受水市町（11 市町）で「岐阜東部上水道広域研究会」を立ち上げ、広域連携による県と市町の事業の合理化に係る検討を行っている。
- ・可茂地区の 1 市 3 町（美濃加茂市、坂祝町、富加町、川辺町）をモデル地域として、国の「生活基盤施設耐震化等交付金」の中に新たに創設された広域化事業の補助メニューの活用方策の検討を行っている。